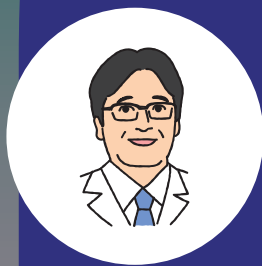
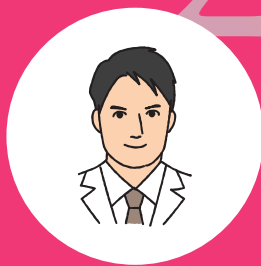


唾液



梶木恵一

骨



塚崎雅之

くさび状欠損



黒江敏史

DHが

意外と知らない知識を まとめてみた



井上 和

7人のエキスパートが疑問に答える

〔編著〕井上 和

〔著〕梶木恵一 塚崎雅之 黒江敏史
西山 暁 伊藤創平 常盤 肇
松丸悠一

「専門書を読んでも難しすぎる」「セミナーを受けても、知りたい情報とは違う」——専門知識を獲得したいと思いながらもうまくいかない、行き詰っている歯科衛生士のために特化した書籍です。「唾液」「骨」「くさび状欠損」「顎関節症」「歯内療法、エンドペリオ」「アライナー矯正」「全部床義歯」の7つの分野について、それぞれのエキスパートによる解説を歯科衛生士向けにとことん噛み砕いてお届けします！

顎関節症



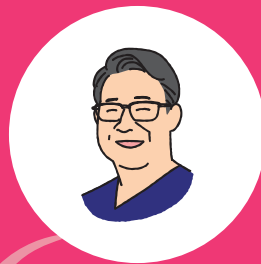
西山 暁

歯内療法、
エンドペリオ



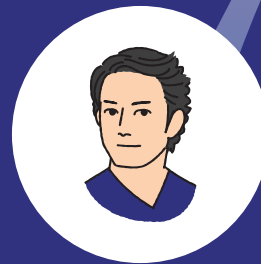
伊藤創平

アライナー矯正



常盤 肇

全部床義歯



松丸悠一

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判変型 ●128ページ ●定価6,600円(本体6,000円+税10%)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp> e-mail mb@quint-j.co.jp



「ここから知れたかった!」「ここも知れてよかった!」という知識が満載。

PART

1

歯科衛生士が おさえておきたい 7つの専門知識

CHAPTER 1

唾液について、おさらい

唾液は口腔内では、消化・消化補助、免疫の役割を担っています。また、口腔内の環境を整える役割も果たしています。唾液の分泌量は、1日約1.5リットルと多く、そのほとんどが唾液腺から分泌されます。唾液腺には、大唾液腺と小唾液腺があります。大唾液腺には、唾液腺のほとんどが集中しています。小唾液腺は、口腔内のほぼすべての場所に分布しています。唾液の成分は、水、電解質、酵素、免疫物質などから構成されています。唾液のpHは、6.5〜7.5と弱酸性〜中性です。唾液の粘度は、口腔内の潤滑や、食物の嚥下を助けます。唾液の分泌量は、ストレス、食事、睡眠、口腔内の状態などに影響を受けます。唾液の分泌量が減少すると、口腔内の乾燥、口臭、歯周病、虫歯などのリスクが高まります。唾液の分泌量を維持するためには、十分な水分摂取、口腔ケア、ストレス管理などが重要です。

Q1 唾液って、何をしているの？

唾液は口腔内では、消化・消化補助、免疫の役割を担っています。また、口腔内の環境を整える役割も果たしています。唾液の分泌量は、1日約1.5リットルと多く、そのほとんどが唾液腺から分泌されます。唾液腺には、大唾液腺と小唾液腺があります。大唾液腺には、唾液腺のほとんどが集中しています。小唾液腺は、口腔内のほぼすべての場所に分布しています。唾液の成分は、水、電解質、酵素、免疫物質などから構成されています。唾液のpHは、6.5〜7.5と弱酸性〜中性です。唾液の粘度は、口腔内の潤滑や、食物の嚥下を助けます。唾液の分泌量は、ストレス、食事、睡眠、口腔内の状態などに影響を受けます。唾液の分泌量が減少すると、口腔内の乾燥、口臭、歯周病、虫歯などのリスクが高まります。唾液の分泌量を維持するためには、十分な水分摂取、口腔ケア、ストレス管理などが重要です。

見えない唾液・涙は、何をしているの？

唾液は口腔内では、消化・消化補助、免疫の役割を担っています。また、口腔内の環境を整える役割も果たしています。唾液の分泌量は、1日約1.5リットルと多く、そのほとんどが唾液腺から分泌されます。唾液腺には、大唾液腺と小唾液腺があります。大唾液腺には、唾液腺のほとんどが集中しています。小唾液腺は、口腔内のほぼすべての場所に分布しています。唾液の成分は、水、電解質、酵素、免疫物質などから構成されています。唾液のpHは、6.5〜7.5と弱酸性〜中性です。唾液の粘度は、口腔内の潤滑や、食物の嚥下を助けます。唾液の分泌量は、ストレス、食事、睡眠、口腔内の状態などに影響を受けます。唾液の分泌量が減少すると、口腔内の乾燥、口臭、歯周病、虫歯などのリスクが高まります。唾液の分泌量を維持するためには、十分な水分摂取、口腔ケア、ストレス管理などが重要です。

唾液腺の働きを知らる

唾液腺は口腔内では、消化・消化補助、免疫の役割を担っています。また、口腔内の環境を整える役割も果たしています。唾液の分泌量は、1日約1.5リットルと多く、そのほとんどが唾液腺から分泌されます。唾液腺には、大唾液腺と小唾液腺があります。大唾液腺には、唾液腺のほとんどが集中しています。小唾液腺は、口腔内のほぼすべての場所に分布しています。唾液の成分は、水、電解質、酵素、免疫物質などから構成されています。唾液のpHは、6.5〜7.5と弱酸性〜中性です。唾液の粘度は、口腔内の潤滑や、食物の嚥下を助けます。唾液の分泌量は、ストレス、食事、睡眠、口腔内の状態などに影響を受けます。唾液の分泌量が減少すると、口腔内の乾燥、口臭、歯周病、虫歯などのリスクが高まります。唾液の分泌量を維持するためには、十分な水分摂取、口腔ケア、ストレス管理などが重要です。

唾液腺から唾液を出す

唾液腺は口腔内では、消化・消化補助、免疫の役割を担っています。また、口腔内の環境を整える役割も果たしています。唾液の分泌量は、1日約1.5リットルと多く、そのほとんどが唾液腺から分泌されます。唾液腺には、大唾液腺と小唾液腺があります。大唾液腺には、唾液腺のほとんどが集中しています。小唾液腺は、口腔内のほぼすべての場所に分布しています。唾液の成分は、水、電解質、酵素、免疫物質などから構成されています。唾液のpHは、6.5〜7.5と弱酸性〜中性です。唾液の粘度は、口腔内の潤滑や、食物の嚥下を助けます。唾液の分泌量は、ストレス、食事、睡眠、口腔内の状態などに影響を受けます。唾液の分泌量が減少すると、口腔内の乾燥、口臭、歯周病、虫歯などのリスクが高まります。唾液の分泌量を維持するためには、十分な水分摂取、口腔ケア、ストレス管理などが重要です。

豊富なイラスト・図でビジュアルに解説。

歯科衛生士がとくにおさえておくべき
要点は「DH's POINT」でわかる。

PART

2

歯科衛生士は これが聞きたい! 7つの臨床 クエスチョン

CHAPTER 3

くさび状欠損に関するQ&A

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

臨床現場で歯科衛生士から
よく寄せられる疑問に回答。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

くさび状欠損は、歯の咬合面や側面に見られる、三角形の欠損です。これは、歯の咬合面や側面に、咬合力や摩擦によるダメージが蓄積することで発生します。くさび状欠損は、歯の健康や審美性に悪影響を及ぼす可能性があります。くさび状欠損の予防には、適切な口腔ケア、咬合調整、歯の保護などが重要です。くさび状欠損の治療には、補綴、歯肉形成、歯の強化などが行われます。くさび状欠損の発生を防ぐためには、定期的な歯科検診と適切な口腔ケアが不可欠です。

臨床での活かし方もわかるコメント付き。

注文書

DHが意外と知らない知識をまとめてみた
7人のエキスパートが疑問に答える
モリタ商品コード:208041027

冊注文します。

●お名前

●貴院名

●ご指定歯科商店

●ご住所 (〒)

●TEL

●FAX

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。